

## 令和5年度事業計画の変更

### (1) 血斑低減頭部保定式スタニング装置開発事業

(JRA事業) (令和5年度～7年度)

血斑を低減するには牛の頭部への正確なスタニングが不可欠であるため、スタニングボックスで頭部を正確に保定するための保定装置を開発し、効果的かつ効率的なスタニングによる血斑低減を図り、牛肉輸出拡大に資する。

### (2) と畜・解体処理の自動化・効率化に関する研究開発—背割りロボットの開発—

(公益財団法人伊藤記念財団) (令和5年度～6年度)

この事業は令和4年度で一旦終了となったが、背割りロボットのプロトタイプの完成まであと一步のところまで来ており、課題である「と体のねじれ」について対策を講ずることにより完成を目指すこととする。

令和5年度事業計画変更について

変更後	変更前
<p>1. 研究開発事業の実施</p> <p>国および団体が公募する研究開発事業に応募し、研究開発を推進する。</p> <p><u>(1) 生研支援センター事業</u></p> <p>豚ロース・バラ自動脱骨装置研究開発事業(令和4年度～6年度)</p> <p>(略)</p>	<p>1. 研究開発事業の実施</p> <p>国および団体が公募する研究開発事業に応募し、研究開発を推進する。</p> <p>生研支援センター事業</p> <p>豚ロース・バラ自動脱骨装置研究開発事業(令和4年度～6年度)</p> <p>(略)</p>
<p><u>(2) JRA畜産振興事業</u></p> <p><u>血斑低減頭部保定式スタニング装置開発事業</u></p>	<p>(新規)</p>
<p><u>(3) 伊藤記念財団事業</u></p> <p><u>と畜・解体処理の自動化・効率化に関する研究開発 -背割りロボットの開発-</u></p>	<p>(新規)</p>
<p>2. 研究成果の普及</p> <p>(略)</p>	<p>2. 研究成果の普及</p> <p>(略)</p>
<p>3. システム研究会の実施</p> <p>(略)</p>	<p>3. システム研究会の実施</p> <p>(略)</p>